

学術フォーラム構成案（宮崎先生より説明）

1. 日付決定 3月30日（月曜日）

2. プログラム構成案

各部部長から、フォーラム担当者をご紹介いただいて、議論した。（第一部 宮崎、第二部 小松、第三部 高橋、野尻が全体調整）

- 1) 日本の展望に関係の深いテーマを選び、午前一つ午後二つの3部構成とする。
- 2) それぞれの部は学術的な講演を二つ+コメンテーター(1人 or 2人)+質疑応答とする。コメンテーターは講演者の学術的専門以外の部分について補足して広がりを持たせるとともに、各部の取りまとめを行う。
- 3) 最後にパネルディスカッションを置く。パネルディスカッションは、日程の都合がつく外国人アドバイザー、会長、執筆者の一部、異なる見地からお話しただけの方等にする。
- 4) 学休期間であることから、高校生、大学生が参加できるように留意する。（第三部の部会をイメージ。高校生向けにすると簡単すぎる？）
- 5) それぞれのテーマ案（別紙一要審議）
- 6) ネット配信を検討する。

3. 今後の進め方の案（要審議）

- 1) テーマ案にふさわしい講演者を委員から推薦（担当者の腹案もありますが、ある程度幅広く意見をいただきたいため。 1週間～2週間以内）
- 2) フォーラム担当者で相談して講演者の案を作って、次回あるいは次次回に講演者も含めて確定。（広報の関係もあり、11月末、かなり遅くても12月には承認を受けたい。）
- 3) 当日は日本の展望の委員会も開催する等とし、委員にはできるだけご出席いただきたい。

4. 議論 本フォーラムと日本の展望の関係（高橋先生より説明）

日本の展望委員会 学術フォーラム
「***** 日本の展望 2020 」(サブタイトルが必要)

- 持続可能な社会の実現に向けて
 - 少子高齢化と向き合う
 - 共生社会実現の課題
 - コメンテーター「技術的な可能性について(第三部)」+質疑応答

- AI と生命科学がもたらすユートピアとディストピア
 - ひとの幸せと生命科学
 - AI のできることできないこと
 - コメンテーター(広がり)(第一部を中心に 医療費負担・監視社会等)+質疑応答

- 災害と環境
 - 地球環境とエネルギー問題
 - 災害 異常気象 地球温暖化
 - コメンテーター(インフラについて) +質疑応答

パネルディスカッション 今までの議論を踏まえて「学術と社会のつながり」について